



ご存知「野球拳」(脱ぎませんよ!)



おかあさん 貫緑の舞



美女にご満悦の兄弟



お上手でした! 金比羅船々

つよさんのお楽しみ日記 59

「お座敷宴会」の巻

私が旅行業の世界に入ったのは昭和三十八年ですからもう五十五年になります。

昭和三十九年の東京オリンピック開催を機に新幹線や高速道路が整備され大型フェリーも就航し、大阪万博で大旅行ブームとなり、高度成長期の申し子と言われた旅行業に携われたことは私にとって幸運であったと思います。

さて、当時は招待旅行、慰安旅行花盛りの時代で宴会では毎晩のように芸者さん呼び、三味線を弾き、太鼓でお囃子、唄い舞いお客さまも一緒に一芸を出すそれは華やかで賑やかな宴会でした。しかし、時代と共にコンパニオンさんの宴会へと変わっていききました。

ある日、伊予鉄の森本元社長さんから松山の花街文化保存の「華唄の会」にてこんななお誘いをつけ、早速寄せて頂きました。お座敷遊びを知らないメンバーばかりでしたが楽しい宴会で次の会には親友で年齢も顔もそっくり(笑)の丸鷹産業の矢野社長をお誘いして参加させて頂きました。

矢野さんもこの雰囲気ですっかり気に入り、今治で仲間にも味わわせてあげたいと言う事になり、今治の「はな亭」(料理が素晴らしい!)に湯之町検番「あけぼの席」からおかあさんの美穂さん、地方の市葉さん、そして初々しい桜吉(さきち)さんと呼んで宴会となりました。今治のお客様、そこその年輩(失礼)であり、さすが遊び上手で特にお座敷遊びは盛り上がりしました。

二次会に行こうと言う事になりカラオケ「湖城」へ、マスターの「イイネ」の相手に乗せられていつの間にか深夜になっていました。皆さんも昔懐かしいお座敷宴会をしてみませんか。



中村剛志